

レジオネラ検査（遺伝子検査法）のご案内

遺伝子検査法でレジオネラ検査の結果報告が早くなります！

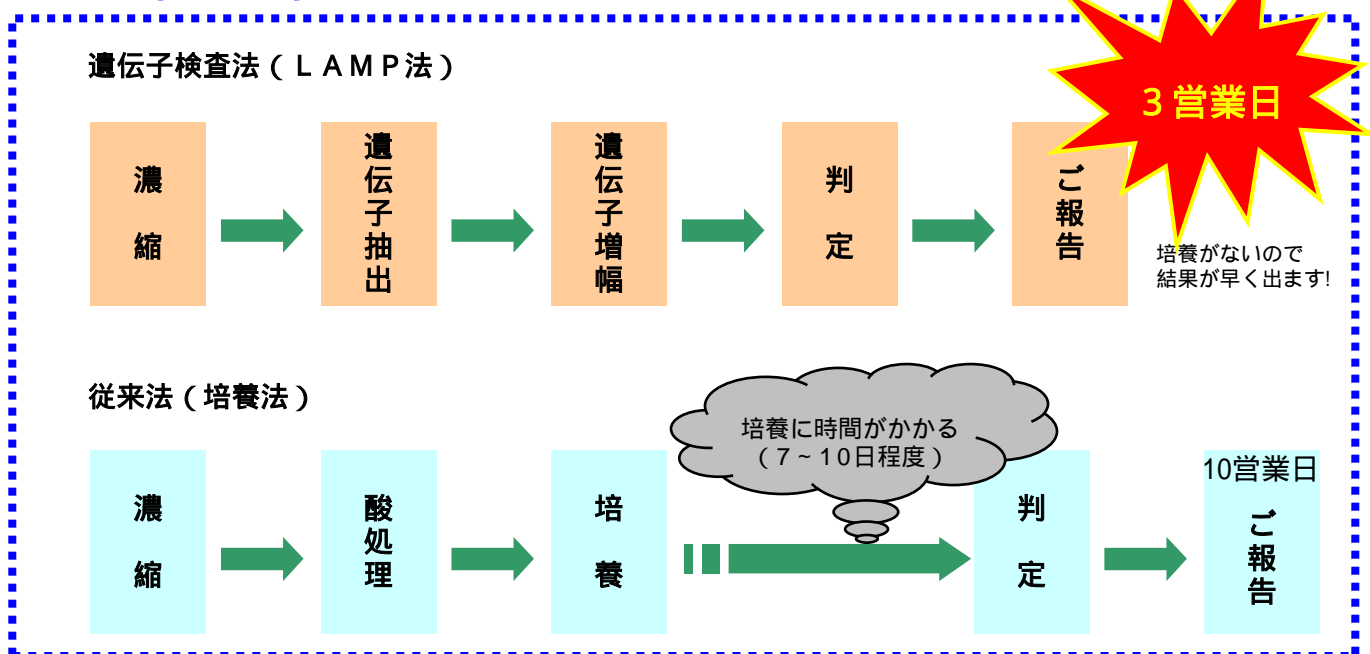
遺伝子検査法（LAMP法）がレジオネラの迅速検査法として「レジオネラ症防止指針 第3版」に記載されました。この遺伝子検査法（LAMP法）は日数のかかる培養法に比べて、検査結果ご報告までの日数が大幅に短縮できる検査方法です。ぜひ、ご利用ください。

このような方にお勧めです！

安全管理などの自主検査でより結果を急ぐ場合
感染が確認された場合の感染源の特定で結果を急ぐ場合
洗浄処置の判定（営業再開の決定）などで結果を急ぐ場合



従来法（培養法）との比較



よくあるご質問

従来法（培養法）と比較して精度はどうですか？
培養法と同程度の精度が確認されています。

遺伝子検査法でも菌数は分かりますか？
遺伝子検査では菌数を知ることはできません。「陽性」「陰性」でご報告します。

検体の採水方法は難しいですか？
採水は従来法（培養法）と同じです。採水容器は当センターで準備いたします。

（財）岐阜県公衆衛生検査センター

〒500-8148 岐阜市曙町4-6
水道食品分析課 小川 TEL:058-247-3106
生物臨床検査課 大森 TEL:058-247-3103